

<p>△産業宣教：237 と第 1, 2, 3, RUTC の答え 24 237 に光を伝えた産業人(創 37:11)</p>	<p>△核心：第 1, 2, 3RUTC の答え 24 7 大の旅路-10 の奥義(Ⅱ テモテ 4:1-5)</p>	<p>△レムナント伝道学：伝道者の生活と第 1, 2, 3RUTC の答え 24 10 の土台(Ⅰ 歴 29:10-14)</p>	<p>△散らされた弟子たち/237, 5000 を生か す第 1, 2, 3RUTC の答え 24 地教会</p>
<p>□序論_神様の導きを受けるための祈り</p> <p>1. 始まり-動機(間違ったこと- 3, 6, 11 / 13, 16, 19) 始まりを良くしなければならない。正しい動機が一役買う。3 団体は間違ったことを持って落ち着いて準備が良くしている。これで 3 団体に負けたのだ。</p> <p>2. 導き-目標、成功 神様の人は目標を正確に知っているの、避けること、走ることを分かる。私たちは成功の後のことが目標だ。そうすれば、正確なみことばの導きを受けるようになる。</p> <p>3. 未来-2030~2080 必要 私たちは正確な未来を握って走るのだ。今、私たちがしていることが Remnant が卒業して動く 2030~2080 年には必要なくなる。 △これを知って契約を握る瞬間に、答えはき始める(創 37:11)</p> <p>□本論_ Gap-新しい恵み どんな伝道運動が私の周囲に起きていのかを見つけて、みことばを聞くとき、私とのギャップと新しい恵みを見つけ出さなければならない。私がどのように神様の導きを受けられるかを祈れば、霊的狀態が変わる。</p> <p>1. エジプト-あらかじめ知っていたこと 1) 創 37:1-11 ヨセフは世界福音化をこのとき、見つけた。私は 237 とどんな関係があるかを質問するとき、霊的狀態が変わる。 2) 創 39:1-6 奴隷でありながら、いつか神様が私を導かれることを知っていた。 3) 創 40:1-23 監獄に行った。 4) 創 41:1-38 王様の夢は主が解き明かしてくださると話した。 5) 創 45:1-5 総理になって世界を生かした。</p> <p>2. 偶像時代-命をかけてもかまわない価値を見つけた 1) I 列 18:1-15 100 人の預言者を隠した。 2) I 列 19:1-21 ホレブ山で神様がすべてのメッセージを与えられた 3) II 列 6:8-23 みことば成就-ドタンの町運動</p> <p>3. バビロン-証人になるとあらかじめ 決断 ダニ 1:8-9 1) ダニ 3:8-24 2) ダニ 6:10-22 3) エス 4:1-16 大きい危険が来たが関係なかった。</p> <p>4. ローマ-時代を見過してすべてをささげた 1) ロマ 16:3-4 命-世界福音化 2) ロマ 16:23 すべての伝道者を助けた 3) ビレ 1:1-25 パウロのすべてを助けてオネシモを受け入れたビレモン</p> <p>□結論_御座 この部分(本論)が私のたましいの中に刻印されれば必ず御座の祝福がくる。</p>	<p>□序論_祈りの奥義(御座-集中)</p> <p>1. 私 1) 貧しさ(原因)-祈りを分かれば原因を発見することになって、ものすごい祝福と土台になる。 2) 無能(古くから長く続いたこと) 3) 環境(葛藤) Nobody → Everybody-祈りを分かれば神様が私を Nobody にされ、Nobody で始めなさいと言われることを知ることになる。「わたしがあなたとともにいる。天のことであなたに働く」が神様の目標だ。すると、私 1 人のゆえに多くの人が生かされる。</p> <p>2. 教会 1) 誤解 2) 試験 3) 分裂 御座の模型-祈りを分かれば御座の模型が教会ということを知るようになる。そうすれば、礼拝に心を置くようになる。</p> <p>3. 人 1) 過去 2) 現在 3) 未来 配慮-その人の立場ですつと祈れば、ものすごいことが見えて、神様のみことばは成就されて私はその答えの中にいることになる。100%配慮が出てくる。</p> <p>□本論_奥義 △平安、力、いやしが祈りの基準で、神様に私を集中させることができる状態を見つければ、完全に勝利する。祈りの奥義を見つせばずっと発展する。</p> <p>1. 絶対-誰も与えられないこと、神様だけが与えられることを見つげ出したこと 1) 主権(創造主) 2) 計画(永遠のこと) 3) 契約(プラットフォームになる) 4) 旅程(他の人を生かして私も知らせる見張り場) 5) 目標(神様と疎通するアンテナ)</p> <p>2. 10 の奥義-何でも変える旅程 どこでも生き残る。霊的事実を見る。答えが他のところにあることを知ることになる。どんな危機の中にも行くことができる。行く所ごとに人を生かす。それゆえ、競争する必要がない。再創造の働きが起こる。それゆえサミットになる。そのときから、荒地、荒野、捨てられた所に巡礼者として行く。結局、絶対答え(本論 1)を味わうようになる。</p> <p>3. 実-誰も分からない道しるべ 1) 神様の御前で(Ⅱ テモテ 4:1) 2) 神様の計画(みことば) 3) 証人(証拠)-証人は証拠を持っていれば良い。時は神様の御手にある</p> <p>□結論_ 70 人 弟子-70 人の中に入って行って 70 弟子を見つけないさい。 1. 悟り-システムが作られる。 2. 始まり-答え(霊的狀態)の始まり 3. 現場(備えられた者との出会い) 4. 以降(持続して来る答え) △これ(本論 1)を常に味わっていれば使 13:1-4, 16:6-10, 19:1-7 をするようになる。この(本論)祝福の中に入れば、幸せで弟子が出てくるようになる。</p>	<p>□序論_ 5分= 237 一日 5 分祈り正しく始めれば 237 が見える</p> <p>1. 人の話(聞くこと)-神様のみことば 人の話は聞くふり、神様みことばを聞いて確認すること</p> <p>2. 現実(見ること)-霊的事実 現実合うふり、いつでも霊的な事実を見ること</p> <p>3. 問題(感じること)-答え 問題、危機きたとき、いつでもこれの中で答えが与えられるを確認</p> <p>□本論_答え土台 神様が準備された土台が見え始める</p> <p>1. 過去の土台 1) 奴隷 2) 捕虜 3) 属国 △すべての問題、困難は世界福音化の土台。家庭も、すばらしい土台</p> <p>2. 今日の土台-10 の土台 父、御子、聖霊、神様みことば、私が神の神殿、私がいる所が宣教現場、私のすべての生活を守られる、来世が準備、したがって伝道者の生活が最も重要な生活になる</p> <p>3. 未来の土台 1) ヨハ 21:15-18 「小羊を飼いなさい」 2) マタ 27:25 次世代間が過ちがないのに滅びる道を行くことを止めるべき 3) 使 17:1, 18:4, 19:8 伝道キャンプ-未信者が弟子として残ること</p> <p>□結論_時代(2030-2080) Remnant は時代を見て準備すること、5 分祈り、深い祈り、人生の土台を見つめる祈りを始めなさい。</p>	<p>吸い込むとき、私のたましいと考えに 3・9・3 の祝福が臨むように、吐き出すとき、私の現場に臨むように祈ることがタラッパン。出会いの中に臨むように祈ることがチームの働き。信徒一人一人に臨むようにすることがミッションホーム。働き、経済、文化、学業に臨むようにすることが専門教会と専門の働き。私の地域に臨むように祈ることが地教会。</p> <p>□本論 1. 始まり(聖霊の導き)これから始まり 答え(人、働き、場所)-力 △使 19:1-7 人、働き、場所の答えをみな受けて力を先に受けること。完全に聖霊の導き 使 2:10, 使 18:1-4 △マルコの屋上の中で恵みを受けたローマの人がパウロと会うようになること</p> <p>2. 進行(いやし-サミット) 使 13, 16, 19 これは進行。いやした起こり、自然にサミット</p> <p>3. 以後(未来-世界福音化) 以後、使 19:21, 23:11, 27:24 未来があらかじめ出てくる</p> <p>□序論_霊的セッティング 常に霊的セッティングから</p> <p>□結論 1. 20 戦略(キャンプ) すると 5 つの基礎 20 の戦略はキャンプに過ぎない</p> <p>2. 現場分析(編集、設計、デザイン) 現場分析するとき、神様のみことば編集、祈り設計、現場弟子計画するデザイン</p> <p>3. 残す者 離れてくる時は残す者がいるべき △弟子一人は一つの国、一つの地域。神様が備わっていること</p>

△区域メッセージ バベル塔(創 11 章) 事件と私の 24(創 11:1-8, 12:1-3)	△聖日 1 部礼拝 いちじくの木のおんえ(マタ 21:18-22)	△聖日 2 部礼拝 最も大きな契約の証拠(マタ 21:23-27)
<p>聖書で重要なバベルの塔の事件は成功しようと塔を築いて、力を合わせての名を上げようとしたこと。問題は神様なしで、神様に敵対する働きをするようになったこと。100 年前、フリーメイソンで「私たちが第 2 のバベルの塔運動をする。100 年ですべての青少年の心をみな奪う」と言った。それなら「私の 24」は、どのようにしなければならぬのだろうか。</p> <p>□序論_作品、バベルの塔を止める作品を作るべき</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私-当然私に与えられたこと、教会という祝福された背景所有 2. 必要-本当に必要なこと、現場に行ったとき、教会の中に、これから未来に必要なことを準備すること 3. 小さいこと-小さくてつまらなく見えることもあるが、私たちの人生に神様から与えられたことを作品にすること <p>□本論_理由(理由あることをすべし)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神様に敵対 <ol style="list-style-type: none"> 1) 文明-これらはバベルの塔を築いて文明を作って神様に敵対 2) 傲慢-傲慢に私たちの名を上げて、力を合わせて頂が天に届くバベルの塔を建てよう 3) 審判-結局バベルの塔は崩れて審判を受けるようになる。私たちが彼らを生かさなければならぬ理由があるが、問題はこの時代に彼らにメッセージを与える人がいなかった。 △アブラハムに「あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て」と言われたのは、ここから離れなさいということだ。 2. 三つのこと-今でもこのサタンは人間を倒すために三つのバベルの塔を築いている。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 偶像神殿-偶像神殿を作って絶対に神様に敵対 2) 暗やみ文化(瞑想)-暗やみ文化のうち一番人気があることが瞑想運動 3) 文化作品-文化作品を作るが、神様に敵対する映画を作れば無条件に賞を受ける。 3. 準備-どんな準備をすべきなのか <ol style="list-style-type: none"> 1) 創 1:27 神のかたしとして創造された私たちは、私を生かして人を生かす運動をすべき 創 2:7 神様がいのちの息を吹き込まれた。これをすべし 創 2:1-18 神様が与えられたエデンの園と祝福を回復 2) 御座-時空を超越する御座の祝福で本当に答えを受けなければならない 3) 空前絶後-空前絶後の祝福を見つけ出さなければならない。私たちの自体が空前絶後の人々だ。 <p>□結論_さかさまに</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題、葛藤、危機-さかさまに見るべき。これを体験しない人は証人ではない。 2. 人-人が足りないように見えても背後にはとても重要なことがある。 3. 不足、うまくいかないこと-私が足りなくて、できないことが多いが、神様が私に正しく準備させられることで、本当に神様のことを見つかることができる時刻表だ。 	<p>私と家庭になぜ苦しみが多いのか。神様は人間を愛して滅亡の側にいないように私たちを正しい側に呼び出される。</p> <p>□序論_わざわいの中に入っている神様の奥義</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実がないいちじくをのろわれたイエス様-理由を知って信じれば山を動かして海に移すことができ、何でも祈ることはみな答えられると言われた 2. いちじくのとえを通して、わざわいの中に入っている神様の奥義を強く握るべき <p>△イスラエルを象徴するいちじくが枯れたというのは死んだこと。滅びたこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 聖書の中-イスラエルに臨んだ 7 つのわざわいの理由を分かず、奴隷、捕虜、属国とされる 2) 世界史の中-偶像崇拜する強大国にイスラエルと Remnant を奴隷に送ったがその中で神様の奥義を知った人は生き残った 3) 個人にきた苦しみの後に隠された奥義を握るべき 3. どの程度、握るべきか-山を動かして海に移すほど信じるべき <ol style="list-style-type: none"> 1) ヨセフ 2) ダニエルと三人の同僚 3) 初代教会 4) 功勞、善行を強調して福音だけでなく、繰り返されたわざわいの中で福音を回復したマルティン・ルター 5) すべての人が神様離れた罪人であり、今でもサタンの誘惑を受けて滅亡の中に行っているという、大きな奥義を握った人々が、わざわいの中で山を移した <p>△落胆せず、揺れず、あきらめてはならない。神様は奴隷として送って私たちの子どもたちを捕虜に送っても、わざわいを止めなければならない</p> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イスラエルの過去すべてのわざわいを通して今まで奥義が示された <ol style="list-style-type: none"> 1) Remnant 7 人 2) ヘブ 11 章の人物 3) 苦しみはわざわいの中にあつたすべてのことを神様の奥義に変えようとする 2. 今日の緊急な状況を解決しなければならないので、神様が与えられるわざわいの中には奥義がある <ol style="list-style-type: none"> 1) イスラエルが解放されようと猛烈に戦っていた 2) 神様がイスラエルを滅亡させて、新しくするというものすごいサイン 3) 苦しみを恐れてはならないと言われたイエス様 3. イスラエルが散らされるが、それが世界福音化の奥義 <ol style="list-style-type: none"> AD70 年エルサレムが滅亡して、ヨーロッパ 23 国に散らされ殺されたユダヤ人。その中でこの奥義を持つ人々を通して世界福音化が急速化 <p>□結論_福音を持った者のすべてのわざわいと問題は神様の奥義が入っているので絶対にだまされてはならない</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヨセフ-奴隷と監獄がすべて道 2. ダビデ-サウル王が殺そうとするがダビデには道 3. バビロンの英雄にも同じようにすべてが道 4. 福音を回復させたルターを通して、福音が全世界で伝えられる <p>△苦しみを通して神様は山を動かして海に移すような驚くべき力で働かれる</p>	<p>幼いときに特別な思想を持てば、真理が入らない。ユダヤ人は幼い時から唯一神、メシヤ思想を聞いた。しかし、イエス様が馬小屋で大工の息子として生まれたので、ユダヤ人は神の子であることを信じるのができず、文句を言った。本文には、あなたが行う権威をどこで受けたかと文句を言った。そのとき、イエス様がバプテスマのヨハネのバプテスマはどこからきたかと尋ねられた。そこで、私たちは分らないと嘘をついた。イエス様もわたしの権威がどこから来たのか言うことができないと言われた。</p> <p>□序論_マタ 11:11 女から生まれた者の中で最も偉大な者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マタ 13:11-13 本当に価値あることは隠すためにたとえを語られたこと 2. マタ 21:24 (マタ 3:19) バプテスマのヨハネがイエス様の頭に手をのせて与えたバプテスマ <p>△すべての罪をなくす大贖罪の日-祭司が羊の頭に手をのせて全ての人の罪を羊に転嫁</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 祭司(わざわい) -すべての罪をなくした祭司 2) 王(王) -サタンの権威に勝った王 3) 預言者(道) -神様に会う道を開いた預言者 <ol style="list-style-type: none"> 3. 十字架(イザ 53:1-6) -復活(1 コリ 15:20): 十字架で死んで 3 日目に復活すると言われた。 <p>△本格的な祈り運動、いやし運動、Remnant 運動が起きなければならない。答えはこれ(序論 2)だ。</p> <p>237 多民族、いやし、サミット-生活のために世界をさ迷っている多民族をいやさなければならぬ。祈れる場、憩いの場になるようにしなければならない。神様の力が分かるサミットにしなければならない。</p> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 120 人 <ol style="list-style-type: none"> 1) カルバリの丘の事件(解放) 2) オリーブ山の答え(祈り)を知っている人 3) マルコのタラップンに集まった人々 2. パウロ-いやし <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 13:5-12 2) 使 16:16-18 3) 使 19:8-20 3. 流浪民族-RT: イスラエルが流浪民族になって強大国の中に入ったが Remnant が世界福音化した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 残りの者、残る者、残れる者、残す者 2) 全世界を生かす巡礼者、征服者として立った 3) 237 が見て来ることができるプラットフォーム、見張り場(台)、アンテナを作りなさい <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一日中-深い祈り、フォーラム(契約)、いやし-教会に来る時は一日中メッセージを握ってこの周囲を回る深い祈りの時間を持ちなさい。一日くらいは、人々と契約フォーラムして、病んでいる人が誰なのかつながって深い呼吸をしながらいやしを祈りなさい。 2. 証拠-証拠を見て、また他の人が来る。 3. 機会-多民族と Remnant、生活のためにもがきながら来た人々に最初で、最後で、永遠の機会を作らなければならない。